

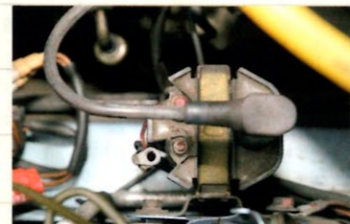


プラズマブースターとは

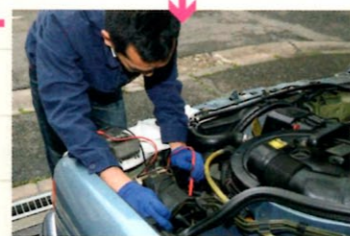
◀イグニッションコイルに接続することで、点火エネルギーを増大させる点火チューニングパーツ。独自のシステムで、通常1回だけのスパークを3回以上発生(マルチスパーク)させることで、完全燃焼を実現するという。



プラズマブースターは、点火のエネルギーを約2倍にまで増大させることで火種となる火花核を確実に成長させ燃焼効率を向上。オシロスコープでその状況をチェックすると、グラフ上部まで電流が立ち上がり点火エネルギーが増加されていることがわかる。



▲こちらがW124のイグニッションコイル。プラズマブースターは、配線に簡単に割り込ますことができる専用コネクタを付属しているため、装着が容易にできるのもうれしい。



◀イグニッションコイルのマイナス線(点火信号線)に付属のクックコネクタを使用してプラズマブースターのカラーワイヤーを取り付けるため、最初の作業はプラスとマイナスを確認。



▲LEDにより取り付け状態と作動状態を確認できる。今回の商品価格は税別31,000円(取付工賃は別途かかります)。



▶全域でトルクが太くなって、発進も追い越しも余裕が増えました。ますます走りが快適に。間違いなく効果、実感できました。

OKADA PROJECTS
オカダプロジェクト

今回ご協力いただいたオカダプロジェクトは、点火系チューニングのスペシャリスト。4輪ではこのプラズマブースターのほかに、最新モデル対応のプラズマダイレクト、また2輪用もラインナップ。興味のある方は一度問い合わせてみてはいかが?
神奈川県川崎市高津区北見方2-3-5
電話044-822-3341
<http://www.okadaprojects.com>



今回作業していただいたオカダプロジェクトの下岡良彰さん。いろいろ優しくアドバイスしてくださいました!

検査するか、あるいは直接問い合わせるか、あるいは直接問い合わせる商品、揃っているそうですよ。さて、パワートレインについては、いよいよ満足した状態になってきたので、そろそろ次回も新たなフリッシュ作業に着手します。クルマはすでに達人、荒さんのおかげで走り味は魅惑的、巷で囁かれていますように、まるで新車のようになっています。また次回も、ますます手放せなくなる、なんて妄想しつつ……。

また次回!

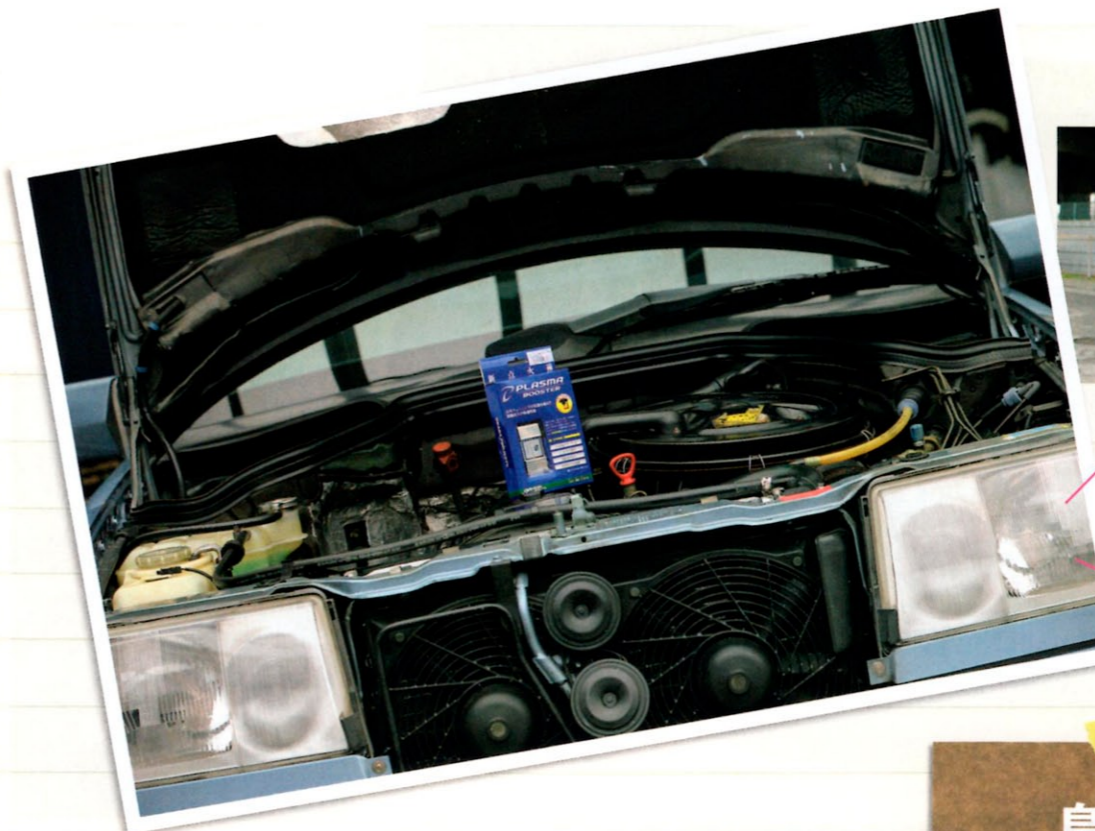
れたアイテムには効果的なものがあるのも当然なのです。ホント、先入観で物事を決めてはいけませんね。OKADA PROJECTSさん、有難うございます。マサカツカメラマン、有難うございます。

なお、興味を持たれた方は、OKADA PROJECTSさんのWebサイトで近くの取扱店を

ここでは正直に言うと、基本的には純正が一番だろうと思っただけです、私としては。でも考えてみれば、W124は30年以上も前の設計なわけで、新たに開発さ

ちなみに結果的に選んだものは、マサカツカメラマンの190Eに使っているのとは違うものでした。同じような年式でも、こちらは4気筒で、こちらは6気筒という違いなどもあったのかもしれない。ともあれ、プラズマブースターは車種専用設計。正しく使わなければ、正しい効果は得られないというわけなんです。

ちで行ないました。今回試したのは3タイプ。それぞれを一般道と自動車専用道でチェックしたのですが、結果的に選んだものは、走り出しからトルクの厚みが明らかに違い、しかも追い越し車線に入るべく全開にした時のパワーの盛り上がりもあって、雰囲気ではなくハッキリとした違いを感じさせたのでした。いやはや、こんなに力強さが感じられるようになるとはビックリ。念のため、3種類試した後に、もう1度試しても印象は同じだったので、間違いはないはず。いやもう、大満足!



プラズマブースターを装着してみました!

第7回 島下泰久の ヤングタイマー・ダイアリー

リポート | 島下泰久 | Y Shimashita
フォト | 佐藤正勝 | M. Sato

いま巷で、密かなブームを巻き起こしているヤングタイマー。ここでは、人気モータージャーナリストの島下泰久が、ちょっと古いメルセデス・ベンツ(W124)を通して、コンディションを整えていく過程や、その道の達人と出会い語ることで、すべてのヤングタイマーを愛するクルマ好きに向けて情報発信をしていく、というもの。今回は、点火系のチューンナップを試してみました!

実はテストの基地には五月ファクトリーさんを使わせていただきました。次回はまた、荒さんにガッツリ作業していただきます!



前回、和光ケミカルさんでエンジン内部を洗浄する「RECS」、そして「F1」を注入した私のW124、本当に驚いたことにエンジンの調子、格段に良くなりました! すぐにエンジンが静かに滑らかになったのが体感できたというよりは前書きでしたが、さらに走行を重ねたら、アイドリング時などに時折起きていたハンチング、つまりエンジン回転が勝手に上下するのが完全に解消し、特に低回転域でのアクセル操作に対する回転上昇のスムーズさにも磨きがかかって、ドライバビリティがとても良くなったのです。



和光ケミカル「RECS」。吸気系から燃焼室まで堆積したカーボン・デポジット等を短時間で強力にクリーニングアップし、燃焼状況を改善するスクレモ。

5月〇日 火花を強化しに行く

そして今回も、新たなアイテムを試してみました。実は、この企画が始まった当初から佐藤マサカツカメラマンがずっと言ってくれていたんです。火花やろうよう。その「火花」とは、有会社OKADA PROJECTSさんが開発、販売している「プラズマブースター」。イグニッションコイルに繋ぐことで、点火エネルギーを約2倍に増やして燃焼効率

30年近くも前のクルマともなれば、燃焼室内、バルブ周辺、ピストントップなどに文字通り汚れやスラッジが盛大に溜まっていったんでしょう。でも正直言って、ここまで効くとは想像していませんでした。和光ケミカルさんごメンナサイ、そして有難うございます!

を高め、しかも点火回数を増やすことで着火性も大幅にアップさせると謳うアイテムです。これ、実はマサカツさんが自らの190Eにすでに施工し効果を実感していて、それで勧めてくれたのですが、ラインナップにはW124用はありません。そこで今回は特別に、商品ラインナップの中から電流値、点火回数などの異なるいくつかのタイプをピックアップしていただき、実際に付け替えては試すというマッチングテストを行なわせていただくこととなったのでした。

ちなみにOKADA PROJECTSは基本的に小売りは行なっており、購入、取り付けは取扱店で行なうこととなります。また、通常ラインナップの製品については、こうしたテストは行ないませんので、念のため。今回は通常ラインナップにW124がなかったため、このようなテストを行なうことになったのでした。テストは単に乗って試すのではなく、イグニッションコイルに接続してオシロスコープで電圧、電流などを図り、走行した印象と照らし合わせて答を出すというかた